

# 工学倫理と社会諸学

東京大学先端科学技術研究センター

牧原 出

# （1）はじめに：グローバル化と「徳の失墜」

## オピニオン & フォーラム

## グローバル化の果て

## インタビュー

## 富の偏在進み固定 徳の失墜と無関心 民主主義が劣化

国内外の政治や行政を見つめ続けてきた牧原さんによると、ヨーロッパが世界を席巻し始めたから約30年。世界の経済はつながり豊かな国になったが、その一方で社会の分断は進み、国際的な対立も激化している。新たな雲が地球を覆うのか。我々は何をすべきか。

『朝日新聞』2023年6月23日

# グローバル化による富の偏在が生み出すグローバル・リベラル・エリートの徳喪失

遍在する富を利用する工学研究には  
「徳」はあるのか？どのように徳を保  
つことができるのか？

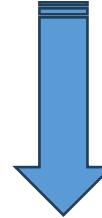
共存へ希望なお  
新たな壁阻止へ  
日本の転換も鍵

A black and white photograph of a man with dark hair and a beard, wearing a dark suit, white shirt, and patterned tie. He is looking upwards and to his right with a thoughtful expression. The background is filled with out-of-focus green leaves and branches, creating a natural frame around him. The lighting is soft, suggesting an outdoor setting.

## 政治学者 牧原出

## (2) 研究抑制型倫理と研究促進型倫理

- 社会諸学と工学の交流不足  
倫理による「歯止め」重視



- 研究を加速・発展する「倫理」  
とは何か？
- 同時代への社会還元・社会実装  
とその基礎の探究を同時展開

### 司法権の独立と専門家の中立性

- ①最高裁判所長官を務めた田中耕太郎の「独立」
- ②COVID-19対応の尾身茂氏の「専門家の中立性」



### （3）研究分野間の連携：ホットスポットの探求

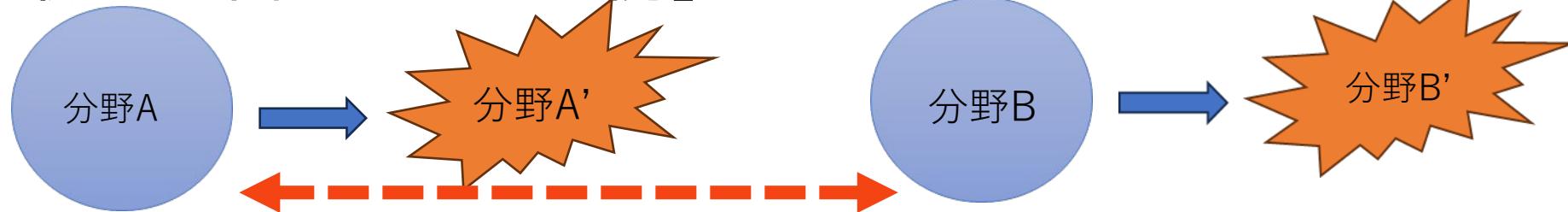
①従来のモデルI：併存型の形式的な「連携」



②従来のモデルII：タコツボ再生産型の「新分野創出」



③共存・協力・自立型の「連携」



## （4）社会連携におけるアカデミアの倫理：同等性と双方向性

①「政治家と科学者の対話の会」プロジェクト  
政治学のファシリテーターとしての存在価値  
**政治の指向性と科学の指向性：どう同等性のもとで同調させるか？**

②地域共創リビングラボ：地域連携における双方向性の難しさ

一方的な連携の意気込み表明になりがち  
他方で細かい連携の知恵も蓄積されている



**双方向性の難しさ**

「バックヤードとしての『地域』」

→分野間連携の可能な機会が広がる場

どう地域を巻き込むか／どう（複数の）地域が関わる<sup>4</sup>か

## （5）社会正義の実現としての工学倫理

- 新しさに伴う正しさとは何か？
- 新しさへ向かう倫理としての「研究倫理」  
従来は手続的正義への偏重
- ゴールの倫理性：**未来社会の正義とは何か？**  
今後は内容的正義の探究